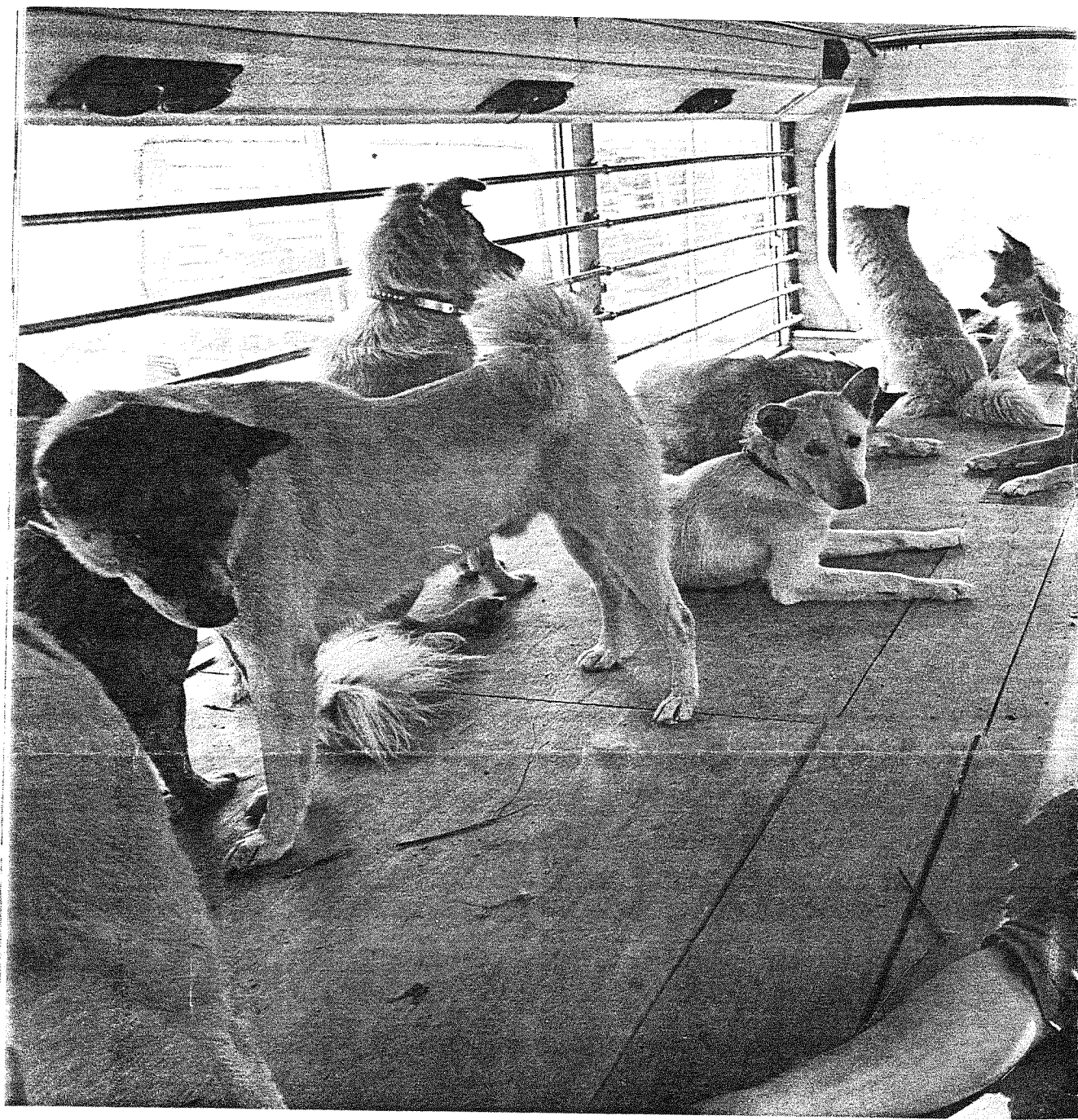




トのことをいうのかもしれない。
 本多さんはこの8月から「犬を捨てないでキャンペーン」を始めた。動機は「経済的にも精神的にも追い詰められたから」。この3カ月で30回ほど、犬を連れ首都圏でキャンペーンをはった。それでもあきたらず、さる10日、もつと大掛かりなキャンペーンに打って出た。31匹のワンちゃんを上下2段に仕切ったマイクロバスにのせて、八日市場⇔鹿児島往復ツアー。八日市場の自宅近くにある（近所の地主が好意で貸してくれた）3000坪の飼育場に残りの犬猫を置いてあとは常駐スタッフに託し、本多さんはスタッフ二人とバスに乗込んだ。これは出発翌日、11日昼のスナック。出発当日、横浜駅西口でキャンペーンをはり、深夜、静岡県清水市に到り、何やかやて本多さんは1、2時間しか仮眠をとれず、この日の午前中は犬の散歩やエサをやるのに忙しく、今、正午——やつと手がすいて、ぐっすりボタンキユーしてしまったのである。今回のキャンペーンの目的は三つ。①捨て犬防止を訴える、②カンパを請う（これまでの例だと1日7万〜15万円集まる）、③繁殖させる意思を持っている人以外、国は、犬猫を飼う人全てに去勢・避妊手術を法律で義務づけるべしとの署名集め。今のところ16、17日に京都大阪入りし、月末に鹿児島自宅へ戻るのは来月10日の予定。「これが成功すれば来年は全国を回りたい」。大好きパワーここに極まれている。

PHOTO 福田文昭